



# 命を飼う、という責任

## 殺処分ゼロへ

全国で年間約4万頭の犬と約13万頭の猫が殺処分されている。佐賀県では平成24年度は462頭の犬と2090頭の猫が殺処分された(※1)。殺処分ゼロへ向け、県でもホームページ等で新しい飼い主を募集するなどし、日々取り組んでいる。

杵藤保健福祉事務所の橋口さんは、「殺処分ゼロを目指して新たな飼い主さんを探すのもとても大切ですが、まず持ち込まれないこと。そのためには捨てない、不幸な命を生ませない、管理をきっちりすることです。これが大前提。」と熱く訴える。避妊・去勢手術を受けさせること。さらに、迷子にさせないためにも犬は首輪・リード・鑑札・注射済票をつけ、猫にも首輪をつけ連絡先が分かるようにすることが重要。当然ながら飼う犬の登録と狂犬予防ワクチンを受けさせることは飼い主の義務である。

「特に飼い猫以外の猫に安易にエサを与えないこと。エサをあげると集まる、避妊去勢手術をしていないとさらに増えていきます。(※2) エサを与えるならば責任を持って飼わなければなりません。(同事務所・古賀さん)」